

HKFA Technical Report 2019

令和元年度 競技力向上事業 北海道トレセン U-16リーグ
兼 第74回 国民体育大会サッカー競技北海道少年男子選手選考会

開催時期

2019年 6月15日(土)～17日(月)
7月13日(土)～15日(月)

会場

札幌市東雁来公園サッカー場
札幌サッカーアミューズメントパーク人工芝G

参加チーム

各ブロックトレセン
札幌、道央、道南、道東、道北
コンサドーレ札幌 計6チーム

競技方法

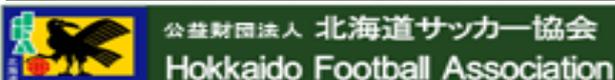
参加6チームによる予選リーグ(1回戦
総当たり)、および代表決定戦



1 はじめに

以前の北海道代表選手を選抜し、チームを強化する方法から、各5ブロックトレセン+コンサドーレの6チームによるリーグ戦で、勝ったチームが北海道代表として本大会に出場するミニ国体という形式になって3年が経過した。

各ブロックでは、国体北海道代表を目指して各カテゴリー同士が協力して準備し、U-14、15でチームの骨格をつかってこの大会に臨んでいる。5日間で総当たりのリーグ戦を実施。上位1、2位となった道北と札幌が最終日の代表決定戦に進んだ。



2 代表決定戦

試合開始より双方激しい球際の攻防がくり広げられる。優先順位を意識して、まずは相手の背後を狙ってスピード豊かなFWがボールを引き出す。MFはその動きによって生じたスペースを使い、サイドに展開しクロスからの得点を狙う。

前半10分に札幌は左サイドからのシュートのこぼれを押し込み先制に成功する。前半中盤にゲームが落ち着き、縦に速い展開から双方ボールを大事に繋ぎながらチャンスをうかがう。道北はカウンターやFK、CKでチャンスをつくるが、ゴールをこじ開けることができない。後半12分札幌はペナルティエリア右角から平行にドリブルで中へ入り、タイミングよくスペースに入ってきた味方へ繋ぎ得点し2-0とリードを広げる。後半19分左サイドからのグラウンダーのクロスを決め、3-0とする。後半終盤は道北の怒涛の攻撃を札幌は体を張って守り、得点を許すことなく初優勝を決め、茨城国体への切符をつかんだ。



3 まとめ

トレセン認定制度を間近に控え、各ブロックの指導者を養成し、力量を上げることや各ブロックトレセンの活性化を通して、ブロック格差を是正し、拮抗したリーグ戦となってきたことは、当初の狙いが達成されているように思う。しかし、高校入学時の選手の移動に伴い、U-15までの積み上げを再構築する時間が足りていないことは今後も検討していかなければならないだろう。



15地区と5ブロックをつなぐ
オール北海道の一貫指導
補欠ゼロへの挑戦